

第3学年 国語 観点別学習状況の評価規準

評価の観点		主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現力	知識・技能
配分				
具体的 評価資料		授業態度・提出物・発言 ワークシート・ノート・振り返りの記述	スピーチ・討論・ディベートの様子 ワークシート・作文・鑑賞文・批評文 定期考査	各小テスト・漢字コンテスト・定期考査 書写・書き初め
領域	単元			
	深まる学びへ	・粘り強く物語の展開のしかたを捉え、学習課題に沿って作品を批評したり、考えたことを伝え合ったりしようとしている。 ・聞き取った内容や表現のしかたを進んで評価し、今までの学習を生かしてメモしようとしている。 ・人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見を持ち、今までの学習を生かして朗読したり考えを伝え合ったりしようとしている。 ・学習課題に沿って情報の信頼性の確かめ方を理解し、積極的に使おうとしている。 ・進んで文章の種類を選択し、学習の見通しをもって情報を編集し文章にまとめようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えようとしている。 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。	・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 ・情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 ・文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。
	視野を広げて	・進んで文章の構成や論理の展開のしかたについて評価し、情報と情報の関係について深めた理解を生かして、文章にまとめようとしている。 ・相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、今までの学習を生かして自分の考えを話そうとしている。 ・助詞や助動詞の働きなどを進んで振り返り、今までの学習を生かして練習問題に取り組もうとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価している。 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。	・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 ・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めている。 ・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。
	言葉とともに	・進んで文章の種類とその特徴について理解し、学習課題に沿って、鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。 ・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて進んで理解し、試行錯誤しながら相手や場面によって言葉を選んで話そうとしている。 ・進んで和語・漢語・外来語を理解し、今までの学習を生かして相手や場面に応じて適切に使い分けようとしている。	・「読むこと」において、文章の構成や表現のしかたについて評価している。 ・「書くこと」において、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。	・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。
	SDGs	・積極的に情報の信頼性の確かめ方を使って読み、学習したことを踏まえて実生活への生かし方を考えようとしている。また、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて進んで評価し、学習課題に沿って報道の文章を比較し、考えをまとめようとしている。	・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価している。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。	・情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。
	いそげに本は	・進んで読書の意義と効用について理解し、学習の見通しをもって読書を楽しむ活動に参加しようとしている。 ・進んで本の探し方について理解し、今までの学習を生かして本を選んだり読んだことを書評などにまとめたりしようとしている。 ・伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。	・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。

	状況の中で	・詩の構成や表現のしかたについて積極的に評価し、学習課題に沿って読み深めた詩について、感じたことや考えたことを伝え合おうとしている。 ・粘り強く文章を批判的に読み、今までの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。 ・粘り強く話の展開を予測しながら聞き、今までの学習を生かして質問したり評価を述べたりしようとしている。 ・目的や意図に応じた表現になっているかを粘り強く確かめ、情報と情報との関係の知識を生かして推敲しようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	・「読むこと」において、詩の構成や表現のしかたについて評価している。 ・「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 ・「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。	・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 ・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。
	自らの考えを	・積極的に二つの文章を批判的に読み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。 ・粘り強く表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりし、学習の見通しをもって批評文を書くようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・積極的に進行のしかたを工夫し、学習したことを生かして効果的な話し合いについて考えようとしている。 ・合意形成に向けて粘り強く考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって話し合おうとしている。 ・進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読したり自分の考えを述べたりしようとしている。	・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 ・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。 ・「書くこと」において、表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。 ・「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。	・情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き、語彙を豊かにしている。
	心にしえの継ぐ	・進んで古典の世界に親しみ、今までの学習を生かして朗読しようとしている。 ・進んで和歌の表現のしかたについて評価し、見通しをもって鑑賞文を書くようとしている。 ・人間、社会、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習を生かして発表したり文章にまとめたりしようとしている。	・「読むこと」において、和歌の表現のしかたについて評価している。 ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 ・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。	・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。
	価値を生み出す	・人間、社会、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習を生かして、理解したことや考えたことについて議論したり文章にまとめたりしようとしている。 ・論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえて粘り強く推敲し、学習の見通しをもって小論文を書くようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて進んで理解し、これまでの学習を生かして課題に取り組もうとしている。	・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 ・「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。	・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 ・単語の類別について理解するとともに、単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解している。
	はいそつばもに本	・進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習や経験を生かして、ノンフィクションを読んで考えたことをまとめようとしている。	・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。
	未来へ向かって	・人間、社会、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。 ・詩を読んで進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。 ・粘り強く言葉を選んだり構成を工夫したりし、今までの学習を生かして、文章にまとめたり、友達の発表を聞いて質問したり評価したりしようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 ・「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 ・「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。	・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。 ・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。

令和7年度		台東区立浅草中学校		
		第3学年 社会科 観点別学習状況の評価基準		
評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
配分				
具体的評価資料		ワークシート、小テスト、定期考査	ワークシート、小テスト、定期考査	ワークシート、小テスト、定期考査、作文、授業参加
領域	単元			
公民	現代社会と私たち	○現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解している。 ○現代社会における文化の意義や影響について理解している。 ○現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解している。 ○人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。	○位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 ○位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 ○対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通した個人と社会との関係、決まりの役割について多面的・多角的に考察し、表現している。	○私たちが生きる現代社会と文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。 ○現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。
	個人の尊重と日本国憲法	○人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。 ○民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。 ○日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。 ○日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。	○対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配などに着目して、「ちがいのちがいを追究しよう」などの対話的な活動を通じ、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について、多面的・多角的に考察、表現している。	○人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。
	現代の民主政治と社会	○国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのありしや政党の役割を理解している。 ○議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解している。 ○国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。 ○地方自治の基本的な考え方について理解している。その際、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解している。	○対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について「S市の市長になって条例を作ろう」などの対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	○民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。
	私たちの暮らしと経済	○身近な消費生活を中心に、経済活動の意義について理解している。 ○市場経済の基本的な考え方について理解している。その際、市場における価格の決まり方や資源の配分について理解している。 ○現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。 ○勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。 ○社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。 ○財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。	○対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任や、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について、現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。 ○対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に關して国や地方公共団体が果たす役割や、財政及び租税の役割について、現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察、構想したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	○市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。 ○国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。
	地球社会と私たち	○世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解している。その際、領土（領海、領空を含む。）、国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項について理解している。 ○地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解している。	○対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	○世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く学習に取り組む、主体的に社会に関わろうとしている。
	より良い社会を目指して	○持続可能な社会の考えについて、これまでの公民的分野での学習を踏まえて、理解を深めている。 ○環境・エネルギー、人権・平和、伝統・文化、防災・安全、情報・技術などに関わる課題を解決することが、持続可能な社会の形成に必要であることを理解している。	○社会的な見方・考え方を働かせ、私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察、構想し、自分の考えを説明、論述している。	○私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く学習に取り組む、主体的に社会に関わろうとしている。
評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
配分				
歴史	開国と近代日本のあゆみ	○欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。 ○開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。 ○自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。 ○我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。	○工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き、明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○近代(前半)の日本と世界を大観して、時代の特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。	○近代(前半)の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
	二度の世界大戦と日本	○第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。 ○経済的世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解している。	○経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現、第二次世界大戦と人類への惨禍について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○近代(後半)の日本と世界を大観して、時代の特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。	○近代(後半)の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
	現代の日本と私たち	○戦後、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを基に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解している。 ○高度経済成長、国際社会との関わり、冷戦の終結などを基に、我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解している。	○諸改革の展開と国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本の民主化と冷戦下の国際社会、日本の経済の発展とグローバル化する世界について、現代の社会の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○現代の日本と世界を大観して、時代の特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○これまでの学習を踏まえ、歴史と私たちのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、課題意識をもって多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

1章 文字式を使って説明しよう【多項式】（19 時間）

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式でわる除法の計算をすることができる。 ・簡単な1次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすることができる。 $(x+a)(x+b)=x^2+(a+b)x+ab$ $(x+a)^2=x^2+2ax+a^2$ $(x-a)^2=x^2-2ax+a^2$ $(x+a)(x-a)=x^2-a^2$	・既に学習した計算の方法と関連づけて、式の展開や因数分解する方法を考察し表現することができる。 ・文字を用いた式を活用して数量及び数量の関係を捉え説明することができる。	・式の展開や因数分解をすることのよさに気づき粘り強く考えようとしている。 ・式の展開や因数分解について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・式の展開や因数分解を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

毎時の評価規準

節	項	時	目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 多項式の計算	先にゴールするのはどのコース？ (教科書 p. 11～14)	1	具体的な問題を、文字式とその計算を利用して解決することを通して、文字のよさを理解する。	・どのコースが先にゴールするかを、コースの長さを比べて予想し、実際の映像で確認する。 ・点Pの位置を変えるとどうなるかを、文字式とその計算を使って考える。		○具体的な問題を、文字式とその計算を利用して解決することができる。	○文字を使った式の必要性和意味を考えようとしている。
	1 多項式と単項式の乗除 (教科書 p. 15)	2	単項式と多項式の乗法や多項式を単項式でわる除法の計算ができる。	・単項式と多項式の乗法の計算をする。 ・多項式を単項式でわる除法の計算をする。	○単項式と多項式の乗法の計算方法を理解し、計算することができる。 ○多項式を単項式でわる除法の計算方法を理解し、計算することができる。		
	2 多項式の乗法 (教科書 p. 16～17)	3	式を展開することの意味を理解し、多項式どうしの積を展開できる。	・多項式と多項式の乗法を、面積図を用いたり、1つの多項式を文字に置きかえたりして考える。 ・式を展開することの意味を知る。 ・多項式どうしの積を展開する。 [用語・記号] 展開する	○式を展開することの意味を理解し、多項式どうしの積を展開できる。	○多項式と多項式の乗法を、面積図を用いたり、1つの多項式を文字におきかえたりして考え、説明することができる。	○式を展開することの必要性和意味を考えようとしている。
	3 乗法公式 (教科書 p. 18～24)	4	乗法公式1を見いだし、それを利用して式を展開できる。	・$(x+a)(x+b)$を展開したり、面積図を用いたりして、乗法公式1をつくる。 ・乗法公式1を利用して、式を展開する。	○乗法公式1を理解し、公式1を利用して式を展開できる。	○ $(x+a)(x+b)$ を展開したり、面積図を用いたりして、乗法公式1を導くことができる。	○式を展開する方法を考えようとしている。
		5	乗法公式2、3を見いだし、それらを利用して式を展開できる。	・乗法公式1をもとにして、和の平方、差の平方を展開するための乗法公式2、3をつくる。 ・乗法公式2、3を利用して、式を展開する。	○乗法公式2、3を理解し、公式2、3を利用して式を展開できる。	○乗法公式1をもとにして、乗法公式2、3を導くことができる。	

		6	乗法公式 4 を見だし、それを利用して式を展開できる。	・乗法公式 1 をもとにして、和と差の積を展開するための乗法公式 4 をつくる。 ・乗法公式 4 を利用して、式を展開する。	○乗法公式 4 を理解し、公式 4 を利用して式を展開できる。	○乗法公式 1 をもとにして、乗法公式 4 を導くことができる。	
		7	乗法公式を利用して、いろいろな式をくふうして展開できる。	・式の一部を 1 つの文字におきかえて、式を展開する。 ・式の展開と加法、減法を組み合わせた式の計算をする。	○乗法公式を利用して、いろいろな式をくふうして展開できる。	○乗法公式を利用するために、式の一部を 1 つの文字におきかえる方法を考え、説明することができる。 ○誤りのある多項式の展開について、誤りを指摘することができる。	○式の展開について学んだことを学習に生かそうとしている。
	基本の問題 (教科書 p. 24)	8					
2 因数分解	長方形の縦と横の長さは？ (教科書 p. 25)	9	式の展開とは逆に、多項式をいくつかの式の積で表すことができることを理解する。	・正方形や長方形を組み合わせて、あたえられた面積の長方形をつくり、縦と横の長さがどんな式で表されるかを調べる。	○多項式をいくつかの式の積で表すことができることを理解している。 ○正方形や長方形を組み合わせて、あたえられた面積の長方形をつくることができる。		○式を因数分解することの必要性や意味を考えようとしている。
	1 因数分解 (教科書 p. 26～27)	10	式を因数分解することの意味を理解し、共通な因数をくくり出して、式を因数分解できる。	・式の因数、式を因数分解することの意味を知る。 ・共通な因数をくくり出して、式を因数分解する。 [用語・記号] (数の) 因数、素因数、(多項式の) 因数、因数分解する	○式の因数、式を因数分解することの意味を理解し、共通な因数をくくり出して、式を因数分解できる。		
	2 公式を利用する因数分解 (教科書 p. 28～32)	11	乗法公式 1 を逆にみて、公式 1' を導き、それを利用して、式を因数分解できる。	・ $x^2+7x+12$ の因数分解を、面積図を使って考える。 ・公式 1' を利用して、式を因数分解する。	○因数分解の公式 1' を理解し、公式 1' を利用して、式を因数分解できる。	○公式 1' の因数分解で、 a 、 b の見つけ方を、面積図を使って考え、説明することができる。	○式を因数分解する方法を考えようとしている。
		12	乗法公式 2、3、4 を逆にみて、公式 2'、3'、4' を導き、それらを利用して、式を因数分解できる。	・ x^2+6x+9 の因数分解を、公式 1' を使って考える。 ・公式 2'、3'、4' を利用して、式を因数分解する。	○因数分解の公式 2'、3'、4' を理解し、公式 2'、3'、4' を利用して、式を因数分解できる。	○因数分解をするときに適切な公式を選び、その公式を選んだ理由を説明することができる。	
		13	因数分解の公式を利用して、いろいろな式をくふうして因数分解できる。	・共通因数をくくり出してから、式を因数分解する。 ・式の一部を 1 つの文字におきかえて、式を因数分解する。	○因数分解の公式を利用して、いろいろな式をくふうして因数分解できる。	○因数分解の公式を利用するために、式の一部を 1 つの文字におきかえる方法を考え、説明することができる。	
	基本の問題 (教科書 p. 32)	14					

3 式の計算の利用	数の性質を予想しよう (教科書 p. 33～34)	15	数の性質を予想し、その予想が正しいことを文字式とその計算を利用して証明する。	・2つの続いた奇数の積に1を加えた数の性質を予想し、それがいつでも成り立つことを証明する。	○文字を使って数量を表したり、目的に応じて式を変形したりすることができる。	○予想した性質が成り立つことを、文字を使って証明することができる。	○式の展開や因数分解について学んだことを学習に生かそうとしている。 ○式の展開や因数分解を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
	1 式の計算の利用 (教科書 p. 35～37)	16	乗法公式や因数分解の公式を利用して、数の計算の結果や式の値をくふうして求めることができる。	・展開や因数分解を利用して、数の計算の結果や式の値をくふうして求める。		○乗法公式や因数分解の公式を利用して、数の計算の結果や式の値をくふうして求める方法を考え、説明することができる。	
		17	数の性質が成り立つことを、文字を使って証明することができる。	・2つの続いた奇数について、大きい数の平方から小さい数の平方をひいた差がどんな数になるかを予想し、文字を使って証明することができる。	○文字を使って数量を表したり、目的に応じて式を変形したりすることができる。	○数の性質が成り立つことを、文字を使って証明することができる。 ○文字を使った証明を読んで、新たな性質を見いだすことができる。	
		18	図形の性質が成り立つことを、文字式とその計算を利用して証明することができる。	・幅一定の図形の面積は、(幅)×(真ん中を通る線の長さ)で求められることを、式の計算を利用して証明する。	○文字を使って数量を表したり、目的に応じて式を変形したりすることができる。	○図形の性質が成り立つことを、文字式とその計算を利用して証明することができる。	
章の問題A (教科書 p. 38)		19					

2 章 数の世界をさらにひろげよう【平方根】（16 時間）

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・数の平方根の必要性和意味を理解している。 ・有理数、無理数の意味を理解している。 ・数の平方根をふくむ簡単な式の計算をすることができる。 ・具体的な場面で数の平方根を用いて表したり処理したりすることができる。	・これまでに学んだ文字式の計算などに関連づけて、数の平方根をふくむ式の計算の方法を考察し表現することができる。 ・数の平方根を具体的な場面で活用することができる。	・数の平方根の必要性や意味を考えようとしている。 ・数の平方根について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・数の平方根を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

毎時の評価規準

節	項	時	目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 平方根	いろいろな面積の正方形をかいてみよう (教科書 p. 41～43)	1	方眼を使ってかいた正方形には、1 辺の長さが整数で表せない場合があることを理解する。	・1 辺の長さが 1cm の方眼を使って、いろいろな面積の正方形をかく。 ・正方形の 1 辺の長さをはかったり、計算したりして調べる。		○方眼を使ってかいた正方形の面積の求め方を考え、説明することができる。	○数の平方根の必要性和意味を考えようとしている。
	1 平方根 (教科書 p. 44～49)	2	2 乗して 2 になる数は、かぎりなく続く小数であり、根号を使って表すことを理解する。	・2 乗して 2 になる数の近似値を求める。 [用語・記号] $\sqrt{\quad}$ 、根号、近似値	○2 乗して 2 になる数は、かぎりなく続く小数であり、根号を使って表すことを理解している。		
		3	平方根の意味を理解し、ある数の平方根を求めることができる。	・平方根の意味を知る。 ・ある数の平方根を求める。 ・ $\sqrt{a^2}$ 、 $(\sqrt{a})^2$ を、根号を使わずに表す。 [用語・記号] 平方根	○平方根の意味を理解し、ある数の平方根を求めることができる。 ○ $\sqrt{a^2}$ 、 $(\sqrt{a})^2$ を、根号を使わずに表すことができる。		
		4	平方根の大小関係を理解し、平方根の大小を不等号を使って表すことができる。	・正方形の 1 辺の長さを比べて、平方根の大小を調べる。 ・平方根の大小を、不等号を使って表す。	○平方根の大小関係を理解し、平方根の大小を不等号を使って表すことができる。	○2 つの正方形の面積と 1 辺の長さの関係をもとに、平方根の大小を考え、説明することができる。	
		5	有理数、無理数の意味を理解し、これまでに学んだ数を有理数と無理数に分類できる。	・これまでに学んだ数を振り返って、有理数と無理数に分類する。 ・有理数と無理数を合わせると、数直線上の点に対応する数をすべて表すことができることを知る。 ・有理数を小数で表したときの特徴を調べる。 [用語・記号] 有理数、無理数	○有理数、無理数の意味を理解し、これまでに学んだ数を有理数と無理数に分類できる。 ○有理数を小数で表すと、有限小数か循環小数になることを理解している。		
	基本の問題 (教科書 p. 50)	6					

2 根号をふくむ式の計算	新しい数の世界の計算を考えよう (教科書 p. 51)	7	根号をふくむ式の乗法や除法の計算方法を理解する。	・ $\sqrt{a} \times \sqrt{b}$ を $\sqrt{a \times b}$ と計算してよいかどうかを、具体的な数や近似値を用いて考える。 ・ $\sqrt{a} \times \sqrt{b} = \sqrt{a \times b}$ となることを、論理的に説明する。	○根号をふくむ式の乗法や除法の計算方法を理解している。	○ $\sqrt{a} \times \sqrt{b}$ を $\sqrt{a \times b}$ と計算してよい理由を、具体的な数や近似値を用いて考え、説明することができる。	○根号をふくむ式の乗法や除法の計算方法を考えようとしている。		
	1 根号をふくむ式の乗除 (教科書 p. 52～56)		8	根号のついた数を変形することができる。また、根号のついた数を変形して、近似値を求めることができる。	・ $a\sqrt{b}$ を $\sqrt{a^2b}$ の形に表したり、 $\sqrt{a^2b}$ を $a\sqrt{b}$ の形に表したりする。 ・根号のついた数を変形して、近似値を求める。	○根号のついた数を変形することができる。 ○根号のついた数を変形して、近似値を求めることができる。			
				9	分母を有理化することの意味を理解し、ある数の分母を有理化することができる。	・分母を有理化することの意味を知る。 ・ある数の分母を有理化する。 [用語・記号] 分母を有理化する		○分母を有理化することの意味を理解し、ある数の分母を有理化することができる。	
					10	根号をふくむ式の乗法や除法の計算ができる。		・根号をふくむ式の乗法や除法を、くふうして計算する。	○根号をふくむ式の乗法や除法の計算ができる。
	2 根号をふくむ式の加減 (教科書 p. 57～59)	11	$\sqrt{a} + \sqrt{b}$ を $\sqrt{a + b}$ と計算できない理由を、近似値や面積図を用いて考え、説明することができる。	・ $\sqrt{a} + \sqrt{b}$ を $\sqrt{a + b}$ と計算してよいかどうかを、近似値や面積図を用いて考え、説明する。		○ $\sqrt{2} + \sqrt{3}$ は、これ以上簡単にすることができない数であることを理解している。	○ $\sqrt{a} + \sqrt{b}$ を $\sqrt{a + b}$ と計算できない理由を、近似値や面積図を用いて考え、説明することができる。	○根号をふくむ式の加法や減法の計算方法を考えようとしている。	
		12	根号をふくむ式の加法や減法の計算ができる。	・面積が 5cm ² の正方形を 4 つ並べてできる正方形の 1 辺の長さを、いろいろな考え方で表す。 ・根号をふくむ式の加法や減法の計算をする。	○根号をふくむ式の加法や減法の計算ができる。				
	3 根号をふくむ式のいろいろな計算 (教科書 p. 60～61)	13	分配法則や乗法公式を利用して、根号をふくむ式を計算できる。また、根号をふくむ式の計算を使って、式の値を求めることができる。	・分配法則や乗法公式を使って、根号をふくむ式を計算する。 ・根号をふくむ式の計算を使って、式の値を求める。	○分配法則や乗法公式を利用して、根号をふくむ式を計算できる。 ○根号をふくむ式の計算を使って、式の値を求めることができる。	○誤りのある根号をふくむ式の計算について、誤りを指摘することができる。	○既習の計算法則などを、根号をふくむ式の計算に生かそうとしている。		
	基本の問題 (教科書 p. 62)	14							

3 平方根の 利用	コピー用紙はどんな長 方形？ (教科書 p. 63～65)	15	数の平方根を具体的な場面で活用することができる。	・B5 判のコピー用紙の、短い辺と長い辺の長さの比を、紙を折ったり図をかいたりして考える。	○具体的な場面で数の平方根を用いて表したり、処理したりすることができる。	○数の平方根を具体的な場面で活用することができる。	○数の平方根について学んだことを生活に生かそうとしている。 ○数の平方根を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
章の問題 A (教科書 p. 66)		16					

3 章 方程式を利用して問題を解決しよう [2次方程式]（15 時間）

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・2次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解している。 ・平方の形に変形し2次方程式を解くことができる。 ・解の公式の意味を理解し、それを用いて2次方程式を解くことができる。 ・因数分解を利用して2次方程式を解くことができる。 ・事象の中の数量やその関係に着目し、2次方程式をつくることができる。	・平方根や因数分解の考えをもとにして、2次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ・具体的な問題の解決に2次方程式を活用し、解が適切であるかどうかを判断することができる。	・2 次方程式の必要性和意味を考えようとしている。 ・2 次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・2次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

毎時の評価規準

節	項	時	目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 2次方程式とその解き方	ロープで囲んだ長方形の面積は？ (教科書 p. 69～71)	1	具体的な問題を解決することを通して、2 次方程式の必要性を理解する。	・ 周の長さが 24m の長方形を図にかいて、縦、横の長さ と面積について調べる。 ・ 面積が 34m ² のとき、縦と横の長さを求めるための方程式をつくる。	○具体的な問題の中から数量の間の関係を見いだし、2 次方程式をつくることができる。		○2 次方程式の必要性和意味を考えようとしている。
	1 2 次方程式とその解 (教科書 p. 72～73)	2	2 次方程式とその解の意味を理解する。	・ 2 次方程式の意味を知る。 ・ 2 次方程式の解と 2 次方程式を解くことの意味を知る。 [用語・記号] 2 次方程式、（2 次方程式の）解、（2 次方程式を）解く	○2 次方程式とその解の意味を理解している。		
	2 平方根の考えを使った解き方 (教科書 p. 74～77)	3	平方根の考えを使って、 $ax^2+c=0$ 、 $(x+▲)^2=●$ の形をした 2 次方程式を解くことができる。	・ 平方根の考えをもとにして、2 次方程式の解き方を考える。 ・ 平方根の考えを使って、 $ax^2+c=0$ 、 $(x+▲)^2=●$ の形をした2次方程式を解く。	○平方根の考えを使って、 $ax^2+c=0$ 、 $(x+▲)^2=●$ の形をした 2 次方程式を解くことができる。	○平方根の考えをもとにして、2 次方程式の解き方を考え、説明することができる。	○平方根の考えをもとにして、2 次方程式の解き方を考えようとしている。
		4	$x^2+px+q=0$ の形をした 2 次方程式を、 $(x+▲)^2=●$ の形に変形して解く方法を理解する。	・ $x^2+px+q=0$ の形をした 2 次方程式を、 $(x+▲)^2=●$ の形に変形して解く方法を考える。	○ $x^2+px+q=0$ の形をした 2 次方程式を、 $(x+▲)^2=●$ の形に変形して解く方法を理解し、解くことができる。	○ $x^2+px+q=0$ の形をした 2 次方程式を、 $(x+▲)^2=●$ の形に変形して解く方法を考え、説明することができる。	
		5	$x^2+px+q=0$ の形をした 2 次方程式を、 $(x+▲)^2=●$ の形に変形して解くことができる。	・ $x^2+px+q=0$ の形をした 2 次方程式を、 $(x+▲)^2=●$ の形に変形して解く。			

	3 2次方程式の解の公式 (教科書 p. 78～80)	6	2 次方程式の解の公式の意味を理解する。	・2 次方程式 $3x^2+5x+1=0$ の解き方にならって、2 次方程式 $ax^2+bx+c=0$ を解くことで、解の公式が導けることを知る。 [用語・記号] 解の公式	○2 次方程式の解の公式の意味を理解し、解の公式を使って 2 次方程式を解くことができる。		
		7	解の公式を使って 2 次方程式を解くことができる。	・解の公式を使って 2 次方程式を解く。			
	4 因数分解を使った解き方 (教科書 p. 81～82)	8	因数分解を使って 2 次方程式を解くことができる。	・因数分解の考えをもとにして、2 次方程式の解き方を考える。 ・因数分解を使って 2 次方程式を解く。 ・ $x^2=4x$ の解き方の誤りを指摘し、正しい解を求める。	○因数分解を使って 2 次方程式を解くことができる。	○因数分解の考えをもとにして、2 次方程式の解き方を考え、説明することができる。	○因数分解の考えをもとにして、2 次方程式の解き方を考えようとしている。
	5 いろいろな 2 次方程式 (教科書 p. 83～84)	9	いろいろな 2 次方程式を、適当な方法で解くことができる。	・2 次方程式の解き方を振り返って、どの方法で解いても解は同じになることを確認する。 ・いろいろな 2 次方程式を、適当な方法で解く。	○いろいろな 2 次方程式を、適当な方法で解くことができる。	○2 次方程式の式の形や係数に着目して、それぞれに適した解き方を考え、説明することができる。	○2 次方程式の解き方を振り返って、よりよい方法で解こうとしている。
	基本の問題 (教科書 p. 84)	10					
2 2 次方程式の利用	畑に通路をつくろう (教科書 p. 85～86)	11	具体的な問題を、2 次方程式を利用して解決するときの考え方や手順を理解する。	・畑の通路の幅を、2 次方程式を利用して求めることについて考える。 ・2 次方程式を使って文章題を解く手順を確認する。	○2 次方程式を利用して問題を解決するときの手順を理解している。 ○具体的な問題の中から数量の間の関係を見いだし、2 次方程式をつくることができる。	○具体的な問題の解決に 2 次方程式を活用し、解が適切であるかどうかを判断することができる。	○2 次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○2 次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
	13	長方形の紙から作った直方体の容器の容積に関する問題を、2 次方程式を利用して解決することができる。	・長方形の紙から作った直方体の容器の容積に関する問題を、2 次方程式を利用して解決する。				
	14	図形の動点に関する問題を、2 次方程式を利用して解決することができる。	・図形の動点に関する問題を、2 次方程式を利用して解決する。				
章の問題 A (教科書 p. 90)		15					

4 章 関数の世界をひろげよう [関数 $y=ax^2$] (17 時間)

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 関数 $y=ax^2$ について理解している。 - 事象の中には関数 $y=ax^2$ として捉えられるものがあることを知っている。 - 関数 $y=ax^2$ を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。 - いろいろな事象の中に、関数関係があることを理解している。	- 関数 $y=ax^2$ として捉えられる 2 つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連づけて考察し表現することができる。 - 関数 $y=ax^2$ を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。	- 関数 $y=ax^2$ のよさに気づき粘り強く考えようとしている。 - 関数 $y=ax^2$ について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 - 関数 $y=ax^2$ を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

毎時の評価規準

節	項	時	目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 関数 $y=ax^2$	ジェットコースターの進むようすは？ (教科書 p. 93～95)	1	具体的な事象の中の 2 つの数量の変化や対応のようすを調べ、変化の割合が一定ではない関数があることを理解する。	・ジェットコースターでは、進んだ距離が時間にもなまってどのように変化するかを調べる。	○具体的な事象の中の 2 つの数量の変化や対応のようすを調べ、変化の割合が一定ではない関数があることを理解する。	○具体的な事象の中の 2 つの数量の変化や対応のようすを、表やグラフを用いて調べ、その特徴を説明することができる。	○関数 $y=ax^2$ の必要性和意味を考えようとしている。
	1 関数 $y=ax^2$ (教科書 p. 96～98)	2	関数 $y=ax^2$ の意味を具体的な事象の変化を調べることを通して理解する。	・ジェットコースターが斜面を下りる場合を、球が斜面を転がる場面におきかえて、時間と距離の関係を調べる。 ・関数 $y=ax^2$ の意味を知る。 [用語・記号] y は x の 2 乗に比例する、比例定数(関数 $y=ax^2$)	○関数 $y=ax^2$ の意味を理解する。		
		3	関数 $y=ax^2$ の意味を理解し、 $y=ax^2$ の式に表すことができる。	・ y を x の式で表して、 y は x の 2 乗に比例するかどうかを調べる。 ・1 組の x 、 y の値の組から、 $y=ax^2$ の式を求める。	○関数 $y=ax^2$ の関係を式に表すことができる。		
2 関数 $y=ax^2$ の性質を調べる方法	関数 $y=ax^2$ の性質を調べてみよう (教科書 p. 99)	4	関数 $y=x^2$ のグラフの特徴を理解する。	・比例や 1 次関数の性質を調べたときの経験を振り返って、関数 $y=ax^2$ の性質の調べ方に見通しをもつ。 ・関数 $y=x^2$ のグラフがどのような形になるかを調べる。 ・関数 $y=x^2$ のグラフの特徴を調べる。	○関数 $y=x^2$ のグラフの特徴を理解する。		○関数 $y=ax^2$ のグラフの特徴を捉えようとしている。
	1 関数 $y=ax^2$ のグラフ (教科書 p. 100～106)						
		5	関数 $y=x^2$ と $y=2x^2$ のグラフ、関数 $y=2x^2$ と $y=-2x^2$ のグラフの関係を理解する。	・関数 $y=x^2$ のグラフをもとにして、 $y=2x^2$ のグラフをかき、その特徴を調べる。 ・関数 $y=2x^2$ のグラフをもとにして、 $y=-2x^2$ のグラフをかき、その特徴を調べる。	○関数 $y=x^2$ と $y=2x^2$ のグラフ、関数 $y=2x^2$ と $y=-2x^2$ のグラフの関係を理解している。 ○関数 $y=ax^2$ のグラフをかくことができる。	○関数 $y=x^2$ と $y=2x^2$ のグラフ、関数 $y=2x^2$ と $y=-2x^2$ のグラフを関連づけて、その特徴を説明することができる。	

		6	関数 $y=ax^2$ のグラフの特徴を理解する。	・関数 $y=ax^2$ のグラフについて、 a の値をいろいろにとって、その特徴を調べる。 ・関数 $y=ax^2$ のグラフの特徴をまとめる。 [用語・記号] 放物線	○関数 $y=ax^2$ のグラフの特徴を理解している。	○関数 $y=ax^2$ のグラフについて、 a の値と関連づけて考察し、その特徴を説明することができる。	
	2 関数 $y=ax^2$ の値の変化 (教科書 p. 107～112)	7	関数 $y=ax^2$ の値の変化の特徴を理解する。	・関数 $y=ax^2$ の値の増減について調べる。 ・比例 $y=ax$ と関数 $y=ax^2$ の変化の割合を比べ、その特徴を調べる。	○関数 $y=ax^2$ の値の増減とグラフの特徴を理解している。 ○関数 $y=ax^2$ の変化の割合は一定ではないことを理解している。	○関数 $y=ax^2$ の変化の割合を、比例の変化の割合と対比させて考え、説明することができる。	○関数 $y=ax^2$ の値の変化の特徴を捉えようとしている。
		8	関数 $y=ax^2$ の変化の割合を求めることができる。また、変化の割合の意味をグラフと関連づけて理解する。	・関数 $y=ax^2$ の変化の割合を求める。	○関数 $y=ax^2$ の変化の割合を求めることができる。 ○関数 $y=ax^2$ の変化の割合は、グラフ上の 2 点を通る直線の傾きを表していることを理解している。		
		9	関数 $y=ax^2$ で、 x の変域に対応する y の変域を求めることができる。	・関数 $y=ax^2$ で、 x の変域に対応する y の変域を求める。 ・比例 $y=ax$ と関数 $y=ax^2$ の特徴を、振り返ってまとめる。	○関数 $y=ax^2$ で、 x の変域に対応する y の変域を求めることができる。 ○比例 $y=ax$ と関数 $y=ax^2$ の特徴を、対比させて理解している。		
		10	具体的な事象において、関数 $y=ax^2$ の変化の割合の意味を考え、説明することができる。	・ジェットコースターの例で、変化の割合がどんなことを表しているかを考える。 ・平均の速さを求めることができる。	○平均の速さを求めることができる。	○具体的な事象において、関数 $y=ax^2$ の変化の割合の意味を考え、説明することができる。	
	基本の問題 (教科書 p. 113)	11					
3 いろいろな関数の利用	走行時の速さを推測しよう (教科書 p. 115～116)	12	具体的な事象の中の 2 つの数量の間の関係を、関数 $y=ax^2$ とみなして、問題を解決することができる。	・自動車の走行時の速さを、速さとブレーキ痕の長さの関係をもとにして予想する。	○身のまわりには、2 つの数量の間の関係を関数 $y=ax^2$ とみなして、問題を解決できる場面があることを理解している。	○具体的な事象の中の 2 つの数量の間の関係を、関数 $y=ax^2$ とみなして、問題を解決することができる。	○関数 $y=ax^2$ について学んだことを生活に生かそうとしている。 ○関数 $y=ax^2$ を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
	1 関数の利用 (教科書 p. 117～119)	13	具体的な事象の中の 2 つの数量の間の関係を、関数 $y=ax^2$ で捉え、問題を解決することができる。	・身のまわりの問題を、関数 $y=ax^2$ やそのグラフを利用して解決する。		○具体的な事象の中の 2 つの数量の間の関係を、関数 $y=ax^2$ で捉え、問題を解決することができる。	
			14	放物線と直線の 2 つの交点の座標や 2 つの交点を通る直線の式を求めることができる。	・放物線と直線 2 つの交点の座標や 2 つの交点を通る直線の式を求める。	○放物線と直線の 2 つの交点の座標や 2 つの交点を通る直線の式を求めることができる。	

2 いろいろな関数 (教科書 p. 120～121)	15	いろいろな事象の中から関数関係を見だし、その変化や対応の特徴を捉え、説明することができる。	・いろいろな事象の中から関数関係を見つけ、その変化や対応のようすを調べる。	○いろいろな事象の中に関数関係があることを理解している。	○いろいろな事象の中から関数関係を見だし、その変化や対応の特徴を捉え、説明することができる。
	16				
章の問題 A (教科書 p. 124)	17				

5 章 形に着目して図形の性質を調べよう【相似な図形】（23 時間）

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解している。 ・相似な平面図形の相似比と面積比の関係について理解している。 ・基本的な立体の相似の意味を理解し、相似な立体の相似比と表面積の比や体積比の関係について理解している。 ・誤差、有効数字の意味を理解し、近似値を$a\times 10^n$の形に表現することができる。	・三角形の相似条件などをもとにして図形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。 ・平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確かめることができる。 ・相似な図形の性質を具体的な場面で活用することができる。	・図形の相似や相似な図形の相似比と面積比や体積比の関係のよさに気づき粘り強く考えようとしている。 ・図形の相似について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・相似な図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

毎時の評価規準

節	項	時	目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 相似な図形	どのように拡大されているかな？ (教科書 p. 127～129)	1	身のまわりにあるものを図形とみなして、その図形のある点を中心に拡大する方法や拡大してできる図形の特徴を理解する。	・タブレット上での 2 本の指の操作によって、図形がどのように拡大されているかを調べる。		○図形をある点を中心に拡大する方法や拡大してできる図形の特徴を見だし、説明することができる。	○平面図形の相似の意味を考えようとしている。
	1 相似な図形 (教科書 p. 130～134)	2	平面図形の相似の意味と相似な図形の性質を理解する。また、相似比の意味を理解し、相似比を求めることができる。	・平面図形の相似の意味と表し方を知る。 ・ある図形の拡大図をかいて、対応する部分の長さや角の大きさの関係を調べる。 ・相似な図形の性質を確認する。 ・相似比の意味を知り、相似比を求める。 ・図形の合同と相似の関係を考える。 [用語・記号] 相似、 $\sim$ 、相似比	○平面図形の相似の意味と表し方を理解している。 ○相似な図形の性質を理解している。 ○相似比の意味を理解し、相似比を求めることができる。 ○合同な図形は、相似な図形で相似比が 1：1 の特別な場合であることを理解している。		
		3	相似の位置にあることの意味を理解し、ある図形と相似の位置にある図形をかくことができる。	・相似の位置にあることの意味を知る。 ・ある図形と相似の位置にある図形をかく。 [用語・記号] 相似の中心、相似の位置にある	○相似の位置にあることの意味を理解し、ある図形と相似の位置にある図形をかくことができる。		
		4	相似な図形の辺の長さを、対応する辺の比やとなり合う辺の比が等しいことを使って求めることができる。	・相似な図形の辺の長さを、対応する辺の比が等しいことを使って求める。 ・相似な図形の辺の長さを、となり合う辺の比が等しいことを使って求める。	○相似な図形の辺の長さを、対応する辺の比やとなり合う辺の比が等しいことを使って求めることができる。		
	2 三角形の相似条件 (教科書 p. 135～138)	5	三角形の相似条件を理解する。	・ある三角形と相似な三角形をかくためには、何がわかればよいかを考える。 ・三角形の相似条件を確認する。	○三角形の相似条件を理解している。	○三角形の相似条件を、三角形の合同条件をもとにして考え、説明することができる。	○三角形の相似条件の意味を考えようとしている。

		6	三角形の相似条件を利用して、2つの三角形が相似かどうかを判断することができる。	・2つの三角形が相似かどうかを、三角形の相似条件を使って判断する。	○三角形の相似条件を利用して、2つの三角形が相似かどうかを判断することができる。		○三角形の相似条件を学習に生かそうとしている。
		7	三角形の相似条件を利用して、図形の性質を証明することができる。	・三角形の相似条件を利用して、図形の性質を証明する。		○三角形の相似条件を利用して、図形の性質を証明することができる。	
	3 相似の利用 (教科書 p. 139～141)	8	直接には測定できない距離や高さを、縮図を利用して求めることができる。	・直接には測定できない距離や高さを、縮図を利用して求める。		○相似な図形の性質を具体的な場面で活用することができる。	○図形の相似について学んだことを生活に生かそうとしている。
		9	測定値の誤差の意味を理解し、真の値の範囲を不等号を使って表すことができる。また、有効数字の意味を理解し、測定値を $a \times 10^n$ の形に表すことができる。	・測定値の誤差の意味を知り、真の値の範囲を不等号を使って表す。 ・有効数字の意味を知り、測定値を $a \times 10^n$ の形に表す。 [用語・記号] 誤差、有効数字	○誤差の意味を理解し、真の値の範囲を不等号を使って表すことができる。 ○有効数字の意味を理解し、測定値を $a \times 10^n$ の形に表すことができる。		
	基本の問題 (教科書 p. 142)						
2 平行線と比	3 等分できるのはなぜ？ (教科書 p. 143)	10	あたえられた手順でノートの罫線が 3 等分できることを、相似な図形の性質を利用して確かめることができる。	・あたえられた手順でノートの罫線を 3 等分し、その方法で 3 等分できるわけを考える。		○相似な図形の性質を具体的な場面で活用することができる。	○図形の相似について学んだことを生活に生かそうとしている。
	1 三角形と比 (教科書 p. 144～148)		11	三角形と比の定理を証明し、それを利用して線分の長さを求めることができる。	・三角形の 1 辺に平行な直線が、他の 2 辺に交わるときにできる線分の比を調べ、成り立つ性質を証明する。 ・三角形と比の定理を確認する。 ・三角形と比の定理を利用して、線分の長さを求める。	○三角形と比の定理を利用して、線分の長さを求めることができる。	○三角形と比の定理を証明することができる。
		12	三角形と比の定理の逆を証明し、それを利用して 2 つの線分が平行かどうかを判断することができる。	・三角形と比の定理の逆が成り立つことを証明する。 ・三角形と比の定理の逆を確認する。 ・三角形と比の定理の逆を利用して、2 つの線分が平行かどうかを判断する。	○三角形と比の定理の逆を利用して、2 つの線分が平行かどうかを判断することができる。	○三角形と比の定理の逆を証明することができる。	
		13	中点連結定理を見いだし、それを利用して線分の長さを求めることができる。	・三角形の各辺の中点を結んでできた線分には、どんな性質があるかを調べる。 ・中点連結定理を確認する。 ・中点連結定理を利用して、線分の長さを求める。	○中点連結定理を利用して、線分の長さを求めることができる。	○中点連結定理を、三角形と比の定理とその逆をもとにして見いだし、説明することができる。	
		14	中点連結定理を利用して、図形の性質を証明することができる。	・四角形の各辺の中点を結んだ四角形の性質を調べる。 ・証明を振り返って、辺や角の関係について新たにわかることを考察する。	○長方形やひし形、正方形は、平行四辺形の特別な場合であることを理解している。	○中点連結定理を利用して、図形の性質を証明することができる。	○図形の相似について学んだことを学習に生かそうとしている。 ○相似な図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
	四角形の各辺の中点を結んだ図形は？ (教科書 p. 149～150)						

	2 平行線と比 (教科書 p. 151～153)	15	平行線と比の定理を見だし、それを利用して線分の長さを求めることができる。	・平行線に直線が交わるときの線分の長さの求め方を考え、説明する。 ・平行線と比の定理を確認する。 ・平行線と比の定理を利用して、線分の長さを求める。	○平行線と比の定理を利用して、線分の長さを求めることができる	○平行線と比の定理を、三角形と比の定理をもとにして見だし、説明することができる。	○平行線と線分の比についての性質を見いだそうとしている。
		16	平行線と比の定理を利用して、図形の性質を証明することができる。	・平行線と比の定理を利用して、線分の長さをあたえられた比に分ける。 ・平行線と比の定理を利用して、図形の性質を証明する。	○平行線と比の定理を利用して、線分の長さをあたえられた比に分けることができる。	○平行線と比の定理を利用して、図形の性質を証明することができる。	○平行線と比の定理を学習に生かそうとしている。
	基本の問題 (教科書 p. 154)	17					
3 相似な図形の面積と体積	大きさの比はどうなるかな？ (教科書 p. 155)	18	相似な三角形について、相似比と面積比の関係をみいだすことができる。	・相似な三角形について、相似比と面積比の関係を調べる。	○相似な三角形の相似比と面積比の関係をを利用して、面積を求めることができる。	○相似な平面図形の相似比と面積比の関係をみいだし、説明することができる。	○相似な平面図形の相似比と面積比の関係を考えようとしている。
	1 相似な図形の相似比と面積比 (教科書 p. 156～158)		19	相似な多角形や円について、相似比と面積比の関係をみいだすことができる。	・相似な多角形や円について、相似比と面積比の関係を調べる。 ・相似な平面図形の相似比と面積比の関係を確認する。	○相似な平面図形の相似比と面積比の関係を理解している。	
		20	相似な平面図形の相似比と面積比の関係をを利用して、図形の面積を求めることができる。	・相似な平面図形の相似比と面積の関係をを利用して、具体的な問題を解決する。	○相似な平面図形の相似比と面積比の関係をを利用して、面積を求めることができる。	○身のまわりにあるものを図形とみなして、相似な平面図形の相似比と面積の関係をを利用して問題を解決することができる。	○相似な平面図形の相似比と面積比の関係を生活に生かそうとしている。
		2 相似な立体の表面積の比や体積比 (教科書 p. 159～161)	21	立体の相似の意味を理解し、相似な立体の相似比と表面積の比や体積比の関係をみいだすことができる。	・立体の相似の意味を知る。 ・相似な立体で、相似比と表面積の比や体積比の関係について調べる。 ・相似な立体の相似比と表面積の比や体積比の関係を確認する。	○立体の相似の意味及び相似な立体の相似比と表面積の比や体積比の関係を理解している。	○相似な立体の相似比と表面積の比や体積比の関係をみだし、説明することができる。
	基本の問題 (教科書 p. 161)		22	相似な立体の相似比と表面積の比や体積比の関係をを利用して、立体の表面積や体積を求めることができる。	・相似な立体の相似比と表面積の比や体積比の関係をを利用して、具体的な問題を解決する。		○身のまわりにあるものを立体とみなして、相似な立体の相似比と体積比の関係をを利用して問題を解決することができる。
		章の問題 A (教科書 p. 164)	23				

6 章 円の性質を見つけて証明しよう [円]（10 時間）

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・円周角と中心角の関係の意味を理解し、それが証明できることを知っている。 ・円周角の定理の逆が成り立つことを知っている。	・円周角と中心角の関係を見いだすことができる。 ・円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用することができる。	・円周角と中心角の関係を見いだそうとしている。 ・円周角と中心角の関係のよさに気づき粘り強く考えようとしている。 ・円周角と中心角の関係について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・円周角と中心角を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

毎時の評価規準

節	項	時	目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 円周角の定理	カメラの位置を調べよう (教科書 p. 168～169)	1	円周角と中心角の関係を見いだすことができる。	・2 点を一定の角度で見込む角の頂点はどのような図形の上にあるかを調べる。 ・1 つの円で同じ弧に対する円周角の大きさはどうなるかを調べる。 [用語・記号] 円周角		○円周角と中心角の関係を見いだすことができる。	○円周角と中心角の関係を見いだそうとしている。
	1 円周角の定理 (教科書 p. 170～175)	2	円周角と中心角の関係を理解し、それが証明できることを知る。	・1 つの弧に対する円周角の大きさが一定であることの証明について考える。 ・円周角の定理を確認する。 ・円周角の定理を利用して、角の大きさを求める。	○円周角と中心角の関係を理解し、それが証明できることを知っている。 ○円周角の定理を利用して、角の大きさを求めることができる。	○円周角と中心角の関係の証明について、構想を立てることができる。	
		3	直径と円周角の定理を見だし、具体的な場面で活用することができる。	・直径と円周角の定理を確認する。 ・直径と円周角の定理を利用して、角の大きさを求める。 ・直径と円周角の定理を具体的な場面で活用する。	○直径と円周角の定理を利用して、角の大きさを求めることができる。	○直径と円周角の定理を具体的な場面で活用することができる。	
		4	円周角と弧の定理を見だし、それを利用して図形の性質を証明することができる。	・円周角と弧の定理を確認する。 ・円周角と弧の定理を利用して、図形の性質を考察する。	○弧と円周角の定理を利用して、角の大きさを求めることができる。	○円周角と弧の定理を利用して、図形の性質を証明することができる。	
	2 円周角の定理の逆 (教科書 p. 176～177)	5	円周角の定理の逆が成り立つことを知る。	・円周角の定理の逆が成り立つかどうかを調べる。 ・円周角の定理の逆が成り立つことを確認する。 ・円周角の定理の逆を利用して、4 点が1 つの円周上にあるかどうかを判断したり、図形の性質を考察したりする。	○円周角の定理の逆が成り立つことを知っている。 ○円周角の定理の逆を利用して、4 点が1 つの円周上にあるかどうかを判断することができる。	○円周角の定理の逆を利用して、図形の性質を証明することができる。	

	基本の問題 (教科書 p. 178)	6					
2 円周角の定理の利用	船の位置を調べよう (教科書 p. 179)	7	円周角の定理の逆を利用して、見込む角についての条件をみたす点の求め方を考えることができる。	・船から周辺の灯台を見たときの、灯台を見込む角度から、地図上の船の位置を求める方法を考える。		○円周角の定理の逆を具体的な場面で活用することができる。	○円周角と中心角の関係について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○円周角と中心角を活用した問題解決の過程を振り返って、検討しようとしている。
	1 円周角の定理の利用 (教科書 p. 180～183)	8	円周角の定理を利用して、円外の 1 点からの接線を作図する方法を考えることができる。	・円外の 1 点からの接線を作図する方法を考える。 ・円外の 1 点からの接線を作図する。	○円外の 1 点からの接線の性質を理解している。	○円周角の定理を具体的な場面で活用することができる。 ○円外の 1 点からの接線の作図方法や三角形の高さの作図方法を考察し、作図することができる。	
		9	円周角の定理を利用して、図形の性質を見だし、証明することができる。	・円と交わる直線でできる図形の中に、相似な図形を見つけ、相似であることを証明する。		○円周角の定理を利用して、図形の性質を見だし、証明することができる。	
章の問題A (教科書 p. 184)		10					

7章 三平方の定理を活用しよう [三平方の定理] (13時間)

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 三平方の定理の意味を理解し、それが証明できることを知っている。 - 三平方の定理を利用して、直角三角形の辺の長さを求めることができる。 - 三平方の定理の逆が成り立つことを知っている。	- 三平方の定理を見いだすことができる。 - 三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。	- 三平方の定理を見いだそうとしている。 - 三平方の定理のよさに気づき粘り強く考えようとしている。 - 三平方の定理について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 - 三平方の定理を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

毎時の評価規準

節	項	時	目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 三平方の定理	3つの正方形の面積の関係は？ (教科書 p. 187～189)	1	直角三角形の各辺を 1 辺とする 3 つの正方形の面積の間に成り立つ関係を見いだすことができる。	・直角三角形の直角をはさむ 2 辺をそれぞれ 1 辺とする正方形を分割して、斜辺を 1 辺とする正方形に重ねる。 ・方眼を使って直角三角形と各辺を 1 辺とする 3 つの正方形をかき、それらの面積の間の関係を調べる。		○直角三角形の各辺を 1 辺とする 3 つの正方形の面積の間に成り立つ関係を見いだすことができる。	○三平方の定理を見いだそうとしている。
	1 三平方の定理 (教科書 p. 190～191)	2	三平方の定理の意味を理解し、それが証明できることを知る。	・直角三角形の 3 辺の長さの間に成り立つ関係を証明する。 ・三平方の定理を確認する。 ・三平方の定理を利用して、直角三角形の辺の長さを求める。 [用語・記号] 三平方の定理	○三平方の定理を利用して、直角三角形の辺の長さを求めることができる。	○三平方の定理を証明することができる。	
	2 三平方の定理の逆 (教科書 p. 192～193)	3	三平方の定理の逆が成り立つことを知る。	・三平方の定理の逆が成り立つかどうかを考える。 ・三平方の定理の逆を確認する。 ・三平方の定理の逆を利用して、三角形が直角三角形であるかどうかを考える。	○三平方の定理の逆を利用して、三角形が直角三角形であるかどうかを判断することができる。		
	基本の問題 (教科書 p. 194)	4					
2 三平	はしごはどこまで届くかな？ (教科書 p. 195)	5	三平方の定理を利用して、具体的な場面で求めたい長さを求める方法を考えることができる。	・はしご車のはしごが届く高さの求め方を考える。		○三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。	○三平方の定理について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。

1 三平方の定理の利用 (教科書 p. 196～202)	6	三平方の定理を利用して、正方形の対角線や正三角形の高さなどを求めることができる。	・三平方の定理を利用して、正方形の対角線や正三角形の高さなどを求める。 ・特別な直角三角形の 3 辺の比を確認する。 ・三平方の定理を利用して、具体的な場面で求めたい長さを求める。	○特別な直角三角形の 3 辺の比を利用して、直角三角形の辺の長さを求めることができる。	○三平方の定理を利用して、図形の面積や線分を求める式が成り立つことを証明することができる。 ○身のまわりの問題を、三平方の定理を利用して解決することができる。	
	7	三平方の定理を利用して、平面図形のいろいろな長さを求めることができる。	・三平方の定理を利用して、2 点間の距離や円における線分の長さを求める。	○三平方の定理を利用して、2 点間の距離や円における線分の長さを求めることができる。		
	8	三平方の定理を利用して、空間図形のいろいろな長さを求めることができる。	・三平方の定理を利用して、直方体の対角線の長さや、円錐、角錐の高さを求める。			
どれくらい遠くから見えるかな？ (教科書 p. 203～204)	9	身のまわりの問題を、三平方の定理を利用して解決することができる。	・富士山がどれくらい遠くから見えるかを、地球を球とみてその切り口の円を考え、三平方の定理を利用して求める。		○身のまわりの問題を、三平方の定理を利用して解決することができる。	○三平方の定理について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○三平方の定理を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
2 いろいろな問題 (教科書 p. 205～206)	10	三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。	・直方体に糸をかけるときの最短の長さを、展開図に表して、三平方の定理を利用して求める。		○三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。 ○三平方の定理が利用できるように、図形のなかにある直角三角形に着目したり、補助線をひいて直角三角形をつくったりして線分の長さを求めることができる。	○三平方の定理について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。
	11	三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。	・長方形の紙を折ってできる図形の線分の長さを、三平方の定理やこれまでに学んだ図形の性質を利用して求める。 ・円とその接線でできる図形の線分の長さを、三平方の定理やこれまでに学んだ図形の性質を利用して求める。			
基本の問題 (教科書 p. 207)	12					
章の問題 A (教科書 p. 208)	13					

8 章 集団全体の傾向を推測しよう [標本調査]（6 時間）

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 標本調査の必要性和意味を理解している。 ・ コンピュータなどの情報手段を用いるなどして無作為に標本を取り出し、整理することができる。	・ 標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現することができる。 ・ 簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができる。	・ 標本調査のよさに気づき粘り強く考えようとしている。 ・ 標本調査について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・ 標本調査を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

毎時の評価規準

節	項	時	目標	学習活動	評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 標本調査	どのように調査しているのかな？ (教科書 p. 211～213)	1	身のまわりで行われている調査には全数調査と標本調査があることを知り、標本調査の必要性和意味を理解する。	・身のまわりで行われている調査について、調査の対象が集団の全体か一部分かを考える。 ・全数調査、標本調査の意味を知る。 ・標本調査が行われるのはどのような場合かを考える。 ・母集団、標本の意味を知る。 [用語・記号] 全数調査、標本調査、母集団、標本	○全数調査、標本調査の必要性和意味を理解している。 ○母集団、標本の意味を理解している。	○標本調査が行われる例について、全数調査ではなく標本調査が行われる理由を考え、説明することができる。	○標本調査の必要性和意味を考えようとしている。
	1 標本調査 (教科書 p. 214～220)		2	標本調査では、標本を無作為に抽出する必要があることを理解する。	・母集団の傾向を推測するためには、標本をどのように取り出せばよいかを考える。 ・無作為に抽出することの意味を知る。 ・無作為に抽出する方法を知る。 [用語・記号] 無作為に抽出する	○標本調査では、標本を無作為に抽出する必要があることを理解している。 ○無作為に抽出する方法を理解し、乱数さいや乱数表、コンピューターを使って、標本を無作為に抽出することができる。	
		3	簡単な場合について標本調査を繰り返し行い、標本の大きさと標本の平均値の関係をみいだすことができる。	・ミニトマトの糖度の平均値を、標本調査を繰り返し行って推測し、標本の大きさと標本の平均値の関係を考察する。		○簡単な場合について標本調査を繰り返し行い、標本の大きさと標本の平均値の関係をみいだし、説明することができる。	○標本調査について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。
		4	標本調査を利用して、母集団における割合を推定し、求めたい数量を求めることができる。	・標本調査を利用して、母集団における割合を推定し、求めたい数量を求める。		○標本調査を利用して、身のまわりの問題を解決することができる。 ○無作為にする抽出する必要性を理解し、その理由を説明することができる。	

	2 標本調査の利用 (教科書 p. 221)	5	標本調査の方法や結果を批判的に考察することができる。	・身のまわりで行われた標本調査の方法や結論について、批判的に考察する。		○標本調査の方法や結果を批判的に考察することができる。	○標本調査を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
章の問題A (教科書 p. 222)		6					

第3学年 理科 観点別学習状況の評価規準

評価の観点		知識・技能(知)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
配分				
具体的 評価資料		課題 実験・観察のレポート 小テスト 定期考査	課題 実験・観察のレポート 定期考査	提出物 課題 授業観察・発言 小テスト
領域	単元			
化学	化学変化とイオン	化学変化をイオンのモデルと関連づけながら、原子のなり立ちとイオン、酸・アルカリ、中和と塩、金属イオン、化学変化と電池についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	水溶液とイオン、化学変化と電池について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	水溶液とイオン、化学変化と電池に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	運動とエネルギー	運動の規則性を日常生活や社会と関連づけながら、運動の速さと向き、力と運動についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 力のつり合いと合成・分解、運動の規則性を日常生活や社会と関連づけながら、水中の物体にはたらく力、力の合成・分解、力と運動についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 力学的エネルギーを日常生活や社会と関連づけながら、仕事とエネルギー、力学的エネルギーの保存についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	運動の規則性について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、物体の運動の規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。 力のつり合いと合成・分解、運動の規則性について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、力のつり合いと合成・分解、運動の規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。 力学的エネルギーについて、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	運動の規則性に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 力のつり合いと合成・分解、運動の規則性に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 力学的エネルギーに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	生命の連続性	生物の成長とふえ方に関する事物・現象の特徴に着目しながら、細胞分裂と生物の成長、生物のふえ方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象の特徴に着目しながら、遺伝の規則性と遺伝子についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の種類の多様性と進化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	生物の成長とふえ方について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長とふえ方についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。 遺伝の規則性と遺伝子について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、遺伝現象についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。 生物の種類の多様性と進化について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	生物の成長とふえ方に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
地学	地球と宇宙	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、日周運動と自転、年周運動と公転についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月や金星の運動と見え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、太陽系と恒星についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	天体の動きと地球の自転・公転について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の動きと地球の自転・公転についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。 月や金星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、月や金星の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。 太陽系と恒星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、太陽系と恒星についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	天体の動きと地球の自転・公転に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 月や金星の運動と見え方に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 太陽系と恒星に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	科学技術・自然環境	日常生活や社会と関連づけながら、自然界のつり合い、自然環境の調査と環境保全、エネルギーとエネルギー資源、さまざまな物質とその利用、科学技術の発展、自然環境の保全と科学技術の利用、地域の自然災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 経済活動と資源、環境を関連づけながら、生物相の変化、資源の減少などを理解し、それに対する科学技術や社会的取り組みから、持続可能な社会に向けた行動判断のもとになる科学的調査(文献調査もふくむ)の技能を身につけている。	生物と環境について、身近な自然環境などを調べる観察、実験などを行い、自然環境保全のあり方について、科学的に考察して判断しているなど、科学的に探究している。 日常生活や社会で使われているエネルギーや物質について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈したり、自然環境の保全と科学技術の利用について、観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用のあり方について、科学的に考察して判断したりするなど、科学的に探究している。 地域の自然災害などを調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用のあり方について、科学的に考察して判断しているなど、科学的に探究している。 資源・環境の持続性について問題を見だし、身のまわりの調査活動をレポートにまとめ、科学的に考察して、持続可能な社会に向けての行動を判断している。	生物と環境に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 エネルギーと物質に関する事物・現象、自然環境の保全と科学技術の利用に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 地域の自然災害に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり、ふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 これまでの理科学習について進んでふり返り、持続可能な社会の実現案を出すための探究を計画し、科学的に探究しようとしている。

【聞くこと】

目標		
●ある程度の長さの放送やボイスメッセージを聞いて、その中から自分が必要な情報を探して、聞き取ることができる。 ●身近な事柄についての簡単なニュースを聞いて、その大まかな内容を聞き取ることができる。 ●日常的な話題の話や会話（旅行の行き先の相談や、スピーチなど）を聞いて、重要な情報を聞き取ることができる。		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
[知識] 3年生で学ぶ言語材料のきまりに関する事項を理解している。 [技能] 3年生で学ぶ言語材料を活用して、日常的な話題について（はっきりと）話された文章等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、 ・ある程度の長さの放送やボイスメッセージを聞いて、その中から自分が必要な情報を探して、聞き取っている。 ・身近な事柄についての簡単なニュースを聞いて、その大まかな内容を聞き取っている。 ・日常的な話題の話や会話（旅行の行き先の相談や、スピーチなど）を聞いて、重要な情報を聞き取っている。	コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、 ・ある程度の長さの放送やボイスメッセージを聞いて、その中から自分が必要な情報を探して、聞き取ろうとしている。 ・身近な事柄についての簡単なニュースを聞いて、その大まかな内容を聞き取ろうとしている。 ・日常的な話題の話や会話（旅行の行き先の相談や、スピーチなど）を聞いて、重要な情報を聞き取ろうとしている。

【読むこと】

目標		
●簡単な英語で書かれた商品やルールの説明を読んで、自分が必要な情報を読み取ることができる。 ●簡単な英語で書かれたコラムや記事を読んで、その大まかな内容を読み取ることができる。 ●簡単な英語で書かれた物語や伝記を読んで、登場人物の心情を読み取りながら、そのあらすじをつかむことができる。 ●簡単な英語で書かれたスピーチ原稿や記事を読んで、写真などを参考にしながら、その重要な情報を読み取ることができる。		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
[知識] 3年生で学ぶ言語材料のきまりに関する事項を理解している。 [技能] 3年生で学ぶ言語材料を活用して、日常的な話題について書かれた文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、 ・簡単な英語で書かれた商品やルールの説明を読んで、自分が必要な情報を読み取っている。 ・簡単な英語で書かれたコラムや記事を読んで、その大まかな内容を読み取っている。 ・簡単な英語で書かれた物語や伝記を読んで、登場人物の心情を読み取りながら、そのあらすじをつかんでいる。 ・簡単な英語で書かれたスピーチ原稿や記事を読んで、写真などを参考にしながら、その重要な情報を読み取っている。	コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、 ・簡単な英語で書かれた商品やルールの説明を読んで、自分が必要な情報を読み取ろうとしている。 ・簡単な英語で書かれたコラムや記事を読んで、その大まかな内容を読み取ろうとしている。 ・簡単な英語で書かれた物語や伝記を読んで、登場人物の心情を読み取りながら、そのあらすじをつかもうとしている。 ・簡単な英語で書かれたスピーチ原稿や記事を読んで、写真などを参考にしながら、その重要な情報を読み取ろうとしている。

【話すこと（やり取り）】

目標		
●過去のできごとや自分の経験などについて、即興である程度会話をつづけることができる。 ●身近な話題について、あらかじめ自分の考えを整理した上で、簡単なディスカッションができる。 ●社会的な話題について、読んだ英文の内容を踏まえて、簡単なディスカッションができる。		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
[知識] 3年生で学ぶ言語材料のきまりに関する事項を理解している。 [技能] 日常的な話題について、3年生で学ぶ言語材料などを用いて、事実や自分の考えなどを、（即興で）伝え合う技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、 ・過去のできごとや自分の経験などについて、即興である程度会話をつづけている。 ・身近な話題について、あらかじめ自分の考えを整理した上で、簡単なディスカッションをしている。	コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、 ・過去のできごとや自分の経験などについて、即興である程度会話をつづけようとしている。 ・身近な話題について、あらかじめ自分の考えを整理した上で、簡単なディスカッションをしようとしている

【話すこと（発表）】

目標		
●身近なことがらについて、即興で、簡単な説明をしたり、それについての意見を述べたりすることができる。 ●身近な話題について、あらかじめ自分の考えや気持ちを整理した上で、まとまりのある内容を発表することができる。 ●社会的な話題について、読んだ英文の内容を踏まえて、考えたことやその理由を話すことができる。		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
[知識] 3年生で学ぶ言語材料のきまりに関する事項を理解している。 [技能] 日常的な話題について、3年生で学ぶ言語材料などを用いて、事実や自分の考えなどを、（即興で）話す技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、 ・身近な事柄について、即興で、簡単な説明をしたり、それについての意見を述べたりしている。 ・身近な話題について、あらかじめ自分の考えや気持ちを整理した上で、まとまりのある内容を発表している。	コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、 ・身近な事柄について、即興で、簡単な説明をしたり、それについての意見を述べたりしようとしている。 ・身近な話題について、あらかじめ自分の考えや気持ちを整理した上で、まとまりのある内容を発表しようとしている。

【書くこと】

目標		
●イベントの招待状を書くことができる。 ●自分の考えや気持ちを整理して、（おすすめの本などについての）まとまりのある紹介文を書くことができる。 ●（社会的な話題について、）読んだ英文の内容について、考えたことや感じたことを書くことができる。		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
[知識] 3年生で学ぶ言語材料のきまりに関する事項を理解している。 [技能] 日常的な話題について、3年生で学ぶ言語材料などを用いて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、 ・イベントの招待状を書いている。 ・自分の考えや気持ちを整理して、（おすすめの本などについての）まとまりのある紹介文を書いている。	コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、 ・イベントの招待状を書こうとしている。 ・自分の考えや気持ちを整理して、（おすすめの本などについての）まとまりのある紹介文を書こうとしている。

第3学年 音楽科 観点別学習状況の評価規準

評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
配分				
具体的 評価資料		授業への取り組み 実技テスト 期末テスト	授業への取り組み 実技テスト 期末テスト	授業への取り組み態度 提出物 ワークシート 自己評価票 期末テスト
領域	単元			
表現		・音程やリズムを正確に表現することができる。 ・声域にあった響きのある発声法を身につけることができる。 ・旋律の特徴や歌詞の美しさに関心を持ち、イメージを持って意欲的に歌うことができる。	・楽曲の雰囲気や曲想を感じ取り、表現することができる。 ・読譜の基本と音楽用語や音楽記号を理解し、表現の工夫に生かし表すことができる。	・自分にあった発声の方法を身につけようとするができる。 ・クラスの仲間と協力し、合唱を創りあげようとしている。 ・音楽の特徴や曲想に関心をもち、表現の活動をするに意欲的に取り組むことができる。
鑑賞		・作曲家や時代背景について理解し、鑑賞することができる。	・音楽的な特徴を捉え、言葉で表現することができる。 ・楽曲の雰囲気や曲想を感じ取り、感想として表すことができる。	・音楽の特徴や曲想に関心をもち、鑑賞の活動をするに意欲的に取り組むことができる。

第3学年 美術 観点別学習状況の評価規準

評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
配分				
具体的評価資料		授業への取り組み・姿勢、作業場面での様子、作品、定期考査	授業への取り組み・姿勢、作業場面での様子、ワークシート、作品、定期考査	授業への取り組み・姿勢、作業場面での様子、鑑賞、提出物、定期考査
領域	単元			
鑑賞	デッサン・彫刻・工芸		国内外の造形の特徴や魅力を味わい、その美意識や創造的精神など、作品について自分なりの印象や考えを深めることができる。	自他の作品、美術文化や文化遺産について興味関心を持ち、それらを尊重し、理解を深めようとする。身近な生活習慣と美術文化との関係について考えることができる。
表現	絵画・彫刻	造形的に美しい形を創造でき、鉛筆の濃淡を効果的に工夫して立体感を表すことができる。 対象の持つ形や色や材質の特徴を観察し、鉛筆の濃淡の技法を工夫して、材質感や立体感を表すことができる。	対象の持つ形の特徴を受け止め、視点や構図を工夫して、画面に取り入れることができる。 感性や想像力を働かせて、自分の内面を見つめて感じ考えたことを基に主題を生成し、創造的に構図を工夫し、豊かに構想を練っている。	物の形や色、材質のおもしろさや特徴に興味を持ち、意識的に観察でき粘り強く作品を仕上げようとする。 自分の姿を見つめて感じとったことや考えたことを基に表現することに関心を持ち、主体的に構想を練ったり、工夫しようとしている。作者の心情や意図など創造的な表現の工夫を味わうことができる。
	（デザイン）色彩	色彩の持つ性質や特性を生かし、配色の効果を工夫して美しく彩色できる。	色彩の性質や特性を生かして、意図にあった配色が構想豊かにできる。	色彩の性質や特性を知り、色彩の効果と対比現象について理解し、工夫してより美しいものをつくることに対して興味や関心を持とうとする。
	（デザイン）平面	素材や画材の特性を生かし、道具を活用し、見通しをもち創造的に美しく制作する。	意図が効果的に伝わるような構図、形や色彩、文字のデザインなどをを総合的に考え、構想を練っている。	身近にあるデザインを研究し、目的や条件に合わせて伝えるためのデザインに関心を持ち、主体的に造形的な美しさを考えて構想を練ったり材料を生かして表現しようとしている。
	工芸	材料の特性を生かし、用途や機能、使用する者の気持ちを考え、自己の表現したい内容と他者への思いやりの心に基づいて創意工夫して表現する。	材料の持つ性質や特質を理解し、使う人の気持ちや材料の特性、造形的な美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練っている。	下絵づくりから成形、表面の仕上げまで根気よく制作しようとする。形や色彩と機能との調和のとれた洗練された美しさ、つくり手の意図などを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて関心を深める。

第3学年 技術家庭科観点別学習状況の評価規準

評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
配分				
具体的評価資料		・定期考査 ・作業、作品、課題 ・課題提出の内容	・定期考査 ・作業、作品、課題 ・振り返りシート ・課題提出の内容	・定期考査 ・授業態度、意欲・忘れ物・発言 ・作業、課題へ取り組む姿勢 ・振り返りシート ・課題提出の内容
領域	単元	技術家庭科共通事項 ・振り返りシートに必要事項を丁寧にまとめ提出物を提出期限までにに出している。 ・毎授業の板書事項を丁寧にまとめる。・忘れ物をしない。 ・意欲を持って学習している。		
	生物育成に関する技術	・生物を育てる技術の目的について理解している。 ・作物の育成環境を調節する技術について理解している。 ・育成環境を工夫してスプラウトを育成することができる技能を身に付けている。 ・人と動物との関わりと動物を健康に育てるための技術について理解している。 ・植物の成長の状態に合わせて、適切な管理作業を行う技能を身に付けている。	・生物育成の技術に込められた問題解決の工夫を読み取り、技術の見方・考え方に気付くことができる。 ・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考えている。	・主体的に生物育成の技術について考えようとしている。 ・他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。
	情報に関する技術	・計測・制御システムの基本的な構成を理解している。 ・計測・制御システムにおけるプログラムの役割を理解している。 ・安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグができる技術を身につけている。	・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身につけている。 ・入出力されるデータの流れを基に、計測・制御システムを構想する力を身につけている。	・主体的に情報の技術について考えようとしている。 ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって知的財産を創造すると共に他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。 ・他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。
家庭科	自分の成長と家族	・幼児の遊び道具を製作する。 ・幼児にふさわしい、想像力を豊かにするようなものを考えることができる。 ・幼児の生活を理解して、適切な生活に関わるもの（おやつなど）を作ることができる。 ・幼児の発達と生活の特徴を知り、子どもが育つ環境や家族の役割を理解する。 ・幼児の遊びの意義を理解する。 ・家庭や家族の基本的な機能を理解する。 ・家庭生活と地域とのかかわりについて理解する。	・幼児の遊び道具製作について、遊ぶときに考えられるさまざまな問題（壊れる、怪我するなど）への配慮を工夫する。 ・幼児の特徴を理解し、かかわり方を工夫できる。 ・家族や地域の人とのよりよい関係の築き方を考えている。	・自分の成長を振り返り、家族との関わりや幼児に対して関心をもっている。
	日常食の調	・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解していると、適切にできる。	日常の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、日常食の調理と地域の食文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	身近な消費生活と環境	・商品の購入に際して、適切な方法を選択できるようにする。 ・品質、機能、価格、アフターサービス、環境への配慮などを商品の選択に活用できるようにする。 ・環境に配慮した生活（たとえば調理）ができるようにする。 ・消費者の基本的な権利や責任について理解する。 ・中学生が巻き込まれやすい消費者問題や対処方法を理解する。	・さまざまな消費者問題に対し、トラブルに巻き込まれないための工夫を考える。 ・環境に配慮した生活の工夫をする。	・自分の消費行動を振り返り、消費生活について関心をもっている。

第 3 学年保健体育 観点別学習状況の評価規準

評価の観点		知識	技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
配分		33%		33%	33%
具体的 評価資料		・ペーパーテスト ・授業ワークシート	・実技テスト ・授業内観察	・ペーパーテスト ・グループでの話し合い ・授業ワークシート(レポート)	・自らの学ぶ態度 ・自らの学習状況の把握 ・自己調整
領域	単元	【共通項目】 1. 保健体育に関心を持ち積極的意欲を持って参加している。 2. 健康に留意し見学をしない授業に参加している。 3. 健康に留意し見学をしない授業に参加している。 4. 進んで各種目に積極的に取り組もうとしている。 5. 常に安全を心がけ、身だしなみに配慮している。			
体育	体 つ く り 運 動	○ラジオ体操・新体カテスト・体ほぐしの運動 1. 体づくり運動の意義には、心と体をほぐし、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことについて理解している。	1. 体力を高める運動を身につけたり、合理的に体力を高めたりすることができる。 2. 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図ることができる。	1. 運動の特性に応じて、自己やグループの能力に適した課題の解決目指して行動・判断できる。 2. 状況を判断して、協力して記録向上を図る。	○ラジオ体操、組体操、運動会学年種目 1. 自ら進んで体づくり運動の楽しさや喜びを体得しようとしている。
	器 械 運 動	○マット運動・跳び箱運動 1. 器械運動には多くの「技」があり、これらの技に挑戦し、その技ができる楽しさや喜びを味わうことを理解している。 2. 運動の基本形態を示す名称と、運動の経過における課題を示す名称によって名づけられていることを理解している。	1. 基本的な技を、組み合わせ円滑に正しく行うことができる。 2. 発展的な技を、正しく行うことができる。	1. 自己の能力に応じた技を選択し、課題に応じて技の習得にききた練習を方法を身に付けている。 2. 仲間と学習する場面で、学習した安全上の留意点を当てはめて、学習課題の取組を工夫できている。	○マット運動・跳び箱 1. 技がよりよくできたり、自己に適した技を習得したりするマット運動の楽しさを味わおうとしている。 2. マット運動や跳び箱の危険性から、仲間と協力して安全な場作りや補助をしようとしている。
	陸 上 競 技	○短距離走・長距離走・走り幅跳び・走り高跳び・リレー 1. 自己の記録に挑戦したり、競争したりする楽しさや喜びを味わうことができる。 2. 各種目において用いられる技術の名称があり、それぞれの技術での動きのポイントを理解している。	1. 長距離走(一定のペース)、ハードル走(3歩のリズム、スムーズなハードリング)、短距離走(クラウチングスタート、スピードに乗ったバトンパス)、走り幅跳び(そりとび、助走スピードを維持した踏切)、走り高跳び(3歩、5歩の助走)、スムーズなバトンパスができる。	1. 自己の能力に適した目標を設定し、効果的な練習法を判断している。 2. 協力して、自己の体力に応じた役割を果たすことができる。	○長距離走、ハードル走、短距離走、走り幅跳び、走り高跳び、新体カテスト 1. 全力を出して競争したり、記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 2. 互いの人格を尊重し、協力して記録向上に努めている。
	水 泳	○クロール・平泳ぎ・背泳ぎ 1. 泳法を身に付け、続けて長く泳いだり、早く泳いだり、競い合ったりする楽しさや喜びを味わうことを理解している。 2. それぞれの種目で主として高まる体力要素が異なることを理解している。	1. 背泳ぎ、バタフライは手と足、呼吸のバランスを保ち泳ぐことができる。クロールは、手と足、呼吸のバランスを保ち速く泳ぐことができる。平泳ぎは、手と足、呼吸のバランスを保ち長く泳ぐことができる。 2. 1泳法で50m泳ぐ、他の1泳法で25m泳ぐ+α 3. 10分以上、一定のペースで泳ぎ続けることができる。	1. 続けて長く泳いだり、早く泳ぐための目標記録や課題を設定している。	○クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ、着衣泳 1. 水の特性を理解し、積極的に泳法を身につけようとしている。 2. 水泳の事故防止の心得や、練習・運動をする上でのルールを守るなど、健康・安全に留意しようとしている。
	球 技	○バスケットボール・バレーボール・サッカー・ハンドボール・ソフトボール 1. 集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わうこと特性があることを理解している。 2. 各種目において用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるポイントがあることを理解している。	○バスケットボール 1. パス、レイアップシュート、セットシュート、ビボット、数的優位な状況での攻めができる。 ○バレーボール 1. アンダーハンドパス、オーバーヘッドパス、サーブ、アタック、ブロック、3段攻撃ができる。 ○ハンドボール 1. ステップシュート、ジャンプシュートができる。 ○サッカー 1. インサイドキック、インステップキック、トラップ、リフティングができる。 ○ソフトボール 1. 攻防を展開するための基本的なバット操作と定位置での守備ができる。 【共通事項】様々な場面に応じたチームプレーができ、チームにおける自己の役割を果たした技能を身に付けている。	1. 自己とチームの課題を把握し、解決の手立てを考え、選んでいる。 2. チームにおける自己の役割を考えている。 3. 相手チームの技能を的確にとらえ、試合に勝つために、話し合いをし、解決しようとしている。	○バスケットボール、バレーボール、サッカー、ハンドボール、ソフトボール、アルティメット 1. 球技の特性を理解し、競争や共同の経験を通して、問題解決のために活動しようとしている。 2. 危険なプレー、ふざけたプレーをしないで練習、ゲームに真剣に取り組む、安全に留意しようとしている。 3. 積極的に試合やゲーム等に関わり、運営に携わることができる。
	ダン ス	○ソーラン節・よっちゃよれ・現代的なリズムのダンス 1. 仲間とともに感じを込めて踊ったり、イメージを捉えて自己を表現したりすることに楽しさや喜びを味わうことができる。	1. ダンスのイメージをとらえた表現をや踊りをするための動きを身につけている。 2. ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、体力の高め方、交流の仕方などを理科している。	1. ダンスを豊かに実践するため、課題に応じた取り組み方をしている。	○現代的なリズムのダンス 1. 仲間と励まし合い認め合いながら、ダンスの楽しさやよるこびを味わおうとしている。 2. ダンスに自主的に取り組み自己の責任を果たそうとしている。
	武 道	○柔道 1. 对人的な技能を基にした運動で、我が国固有の文化であることを理解している。 2. 技能の習得を通じて、人間形成を図るという伝統的な考え方を理解している。	1. 礼法、基本動作を身につけている。 2. 基本技能を身につけている。 3. 審判法を身に付け、実践ができる。	1. 練習や試合で、相手のすきや崩す方法を考え判断している。 2. 試合の効率よい運営のための判断ができる。	1. 相手の動きや技に対応した攻防や勝敗を競う会うが武道の楽しさを味わおうとしている。 2. 礼儀作法を重んじ、相手を尊重して、自分を律する態度をとうとしている。
保健	保健	健康な生活と病気の予防を理解し、積極的に行動している。環境と体の変化についての取り組みを積極的に行っている。		健康な生活と病気の予防についての確かな判断が出来る。 環境と体の変化の予防についての判断ができるようにする。	健康な生活と病気の予防に関心を持って生活する。 環境と体の変化について関心を持って生活をする。